
ガンバと7匹のなかま
長編アニメーション映画
冒険者たち
ぼうけんしゃ

すばらしき……
7匹のなかまたち！



ガンバ

（声・野沢雅子）

やあ、みんな元気かい、おれガンバ、がんばり屋のガンバだよ。

おれ、好奇心旺盛で恐いもの知らずなんだ。街にいるときも、ネコと鬼ごっこをするのがすきだったんだよ。

だから忠太からイタチのノロイの話を聞いたときも、すぐに助けにいく気になったんだ。困っている仲間を助けるのはあたりまえだよね。

おまけに、いっしょに戦ってくれる仲間までいて、おれ、感激。なにがでたってこわくないぞ。



シジン

（声・島田　彰）

えー、わたしはシジン、専門は医者だが本職はシジン。しかしながらいまなお自分の気にいった詩を作ったことがないのです。いつもあと一歩というところまでいくのだが、なぜか最後がまとまらないのです。

でも、冒険の旅さえすれば詩はあふれてくると思い、みなさんと旅をすることにしました。きっとすばらしい詩ができることでしょう。

それと、グビ、わたし、ウィー、お酒を少々……ウィ〜。



ヨイショ

（声・内海賢二）

おれは船乗りネズミのヨイショさまだ。ケンカNo.1の5年連続チャンピオンだぜ。いままでにおれより強いやつに会ったこたァないぜ（「うそつけ、おれとの勝負はまだついてないぞ」ガンバ）。

七つの海を渡りあるいたこのおれに、海と船のことで知らねえことなぞ、ありゃしねえ。

おれの右目はノロイにつぶされたんだぜ。だからノロイと戦う気なんか全然なかったのにガンバのやろうの「はずかしくねえのか」。でいく気になっちまったぜ。



ボーボ

（声・水城蘭子）

お、おいらボーボ。ガンバと古くから友だちの街ネズミだよ。

ガンバが海を見ようっていうんできたんだけど、まさかイタチと戦いにいくとは思わなかったよ。おいらそれよりうまいものを食べて寝ている方がすきだもん。

おいらの特技は食べ物さがし、どんな所にいっても食べ物のニオイだけは一発でかぎわけられるよ。だっていつもおなかがすいているんだもん。

料理をさせれば天下一品の料理を作れるんだよ。



ガクシャ

（声・富山　敬）

わがはいはガクシャ。ヨイショとはおさななじみ。腕っぷしだけのヨイショにかわって頭脳的問題を担当している。コツン（ヨイショになぐられた音）。

えー、からだは小さくメガネがなければなにも見えない強度の近視だが、アイデアと、作戦はだれにも負けはしない。

わがはいこそグループのリーダーにふさわしいと思っているのだが、まわりのやつらは全然わかろうともしない。しかたがない。天才とはいつでも孤独なものなのだ。トホホ……。



イカサマ

（声・堀　絢子）

お初にお目にかかりやす。あっしはイカサマっていうケチなやろうで……。ヒョンなことからガンバたちと行動をともにすることになっちまいやしたが、もとはといえば、渡り鳥渡世のバクチ打ち。サイコロバクチが大すきでして、イカサマがバレて、すいたあの子をおいて故郷を逃げだしたバカなやろうです。

サイコロうらないを得意としやして、よく先を読むんでやすが、これがよくあたりやしてね。どうです、一丁うらないやしょうか。



忠太

（声・佳川紘子）

み、みなさん、はじめまして。ぼ、ぼく、忠太といいます。

ぼくたちの夢見ガ島が白イタチのノロイにおそわれて、仲間がつぎつぎと殺されていったため、長老が勇気ある仲間に助けを求めるのに、いちばん身軽で、そしてケガをしていなかったぼくを選んで海を渡らせたんです。

ぼく、弱虫の泣き虫だけど、仲間を助けるまでもう泣かないって誓ったんだ。

徳間書店「ロマンアルバム」ガンバ特集号より

というのだ。
その話のあまりのおそろしさに、はじめはたじろぐ仲間たちだが、結局は、ノロイの島に船出する。
苦しい航海の旅をへて夢見ガ島に上陸したガンバたちは、忠太の姉、シオジやその一族と合流。また、ノロイのために妻や子をみな殺しにされたオオミズナギ島のツムリたちとも出会った。
ガンバたちネズミの一群の移動がはじまった。それをめがけてノロイがおそいかかる。次々と殺されるネズミたち。とうとう海のそばのがけまでおいつめられ岩穴に逃げこむガンバたち。
兵糧ぜめなど巧妙なワナを仕掛けてくるノロイたちの計画も、ガンバたちの必死の努力で失敗した。
そして、満月の夜、ガンバたちとノロイ一族の最後の戦いの時がきた……。

かいせつ

この映画は、一九八三年度野間児童文芸賞を受賞した斎藤惇夫の「冒険シリーズ」、『冒険者たち——ガンバと十五ひきの仲間——』(岩波書店刊)をアニメーション化したもので、『グリックの冒険』につづく第二弾です。
作品の大きなテーマのひとつである「ガンバと仲間たちのつながり」をたて糸に、ネズミの国を滅ぼそうとする敵とのたたかいを描く冒険のものがたりです。
製作は、数多くのアニメーション映画を生みだしてきた東京ムービー新社。監督は、虫プロで『鉄腕アトム』などの動画を担当以来、『宝島』などのテレビアニメ、『エースをねらえ!』『あしたのジョー』などの長編劇場用アニメを手がけてきた出崎統。作画監督は『グリックの冒険』の椛島義夫が担当しています。



長編アニメーション映画

冒険者

ぼうけんしゃ

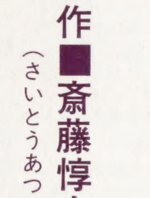
原作　斎藤惇夫(岩波書店刊)
監督　出崎　統
画面設定　芝山　努
作画監督　椛島義夫
美術監督　小林七郎
撮影監督　清水達正
音楽　山下毅雄
製作　東京ムービー新社
配給　共同映画全国系列会議

の小さなものが、巨きなものに対してぶつかっていくという意外性、小さいから見るものは、その奮闘に思わずガンバレ!と叫んでしまう。アニメのキャラクターとしてこれほど同化させ感情移入させるのに適したものはない。
これまであげた魅力のすべてがつまっているのがこの作品だろう。
しかもここではもう一つ、新しさがある。それはみんなで力を合わせていくことの大切さ、美しさをうたいあげている点だ。
ガンバとその仲間それぞれの個性がユーモラスに描きわけられているのもおもしろいが、やさしさとあたたかさが、仲間の危機を救うためにという目的にむかったとき、ひときわ輝やき光る。友情のきずながしっかりと結びあわされ必死になって戦う時、巨大な敵はいくら強くても敗れていく。
「冒険者たち」は、子どもが喜び、大人は感じ入るそんなアニメーション映画だ。



原作■斎藤惇夫(さいとうあつお)

一九四〇年新潟市に生まれる。小学校から高校卒業まで長岡市でくらし、その後立教大学にすすみ法律を学ぶ。卒業して電機会社につとめている時、スミス著「児童文学論」アザール著「本・子ども・大人」を読み、すきな児童文学に専心しようと決意して福音館書店に入社、現在にいたる。なお一九七一年「グリックの冒険」で、日本児童文学者協会新人賞受賞。第3作「ガンバとカワウソの冒険」で一九八三年度野間児童文芸賞を受賞。



監督■出崎　統(でざきおさむ)

一九四三年一一月一八日生まれ、東京都出身。高校卒業後、虫プロに入社。「鉄腕アトム」の動画でデビュー。テレビ作品「ビッグX」で初演出。「宝島」など数多くのテレビ・アニメを担当し「エースをねらえ!」で劇場用アニメを手がける。「あしたのジョー」「あしたのジョー2」を監督し、アニメ・ファンの圧倒的支持を受けている。



ガンバとボーボ、ジジン、ヨイショ、忠太(ちゅうた)、
ガクシャ、イカサマ……海をわたるなかまたちが、
愛、友情、勇気をうたう!

ものがたり

大都会の下町にすむドブネズミのガンバは、仲間のボーボにさそわれ「ひろくて大きな海」をみに港にでかけた。

食物をさがしに倉庫に入ると、船乗りネズミの年に一度の大パーティのまっさい中、高らかに歌声がひびき、手拍子にあわせておどりがはじまっていた。たくさんの航海できたえられた冒険者たちのパーティだ。

頭がよく船乗り仲間で一番尊敬されているガクシャ。どんなところにもとびこみすばらしい詩をつくりみんなをはげますシジン。

ガンバもボーボもしだいにうちとけ、酒をのみ、うたをうたう。

うで自慢のヨイショ。なんでもサイコロで結論をつけようというイカサマ。

みんな個性豊かな仲間たち。パーティも終りに近づき、帰り仕度がはじまる。

「待ってくれ!帰るのはちょっと待ってくれ!」ふりかえると全身血だらけの忠太が助けを求めながら倒れている。

忠太の島・夢見ガ島はイタチのノロイにおそわれるまではすごしやすい島だったが、イタチの三倍もあるノロイのために仲間たちはつぎつぎと殺され、その数は十分の一に減ってしまった。このままでは仲間たちは全滅してしまう。なんとか助けに来てくれ

ガンバと7匹のなかま
者たち



もう一つの新しさ

石子 順(映画評論家)

タイトルに冒険とつくアニメーション映画は多い。ねずみが、キャラクターになっている作品も目立つ。

東映動画の傑作「太陽の王子ホルスの大冒険」をはじめとして、「ちびっこカムのぼうけん」、「グリックの冒険」、「船のリシンドバットの冒険」……。ミッキー・マウスはねずみアニメの元祖みたいだし、「トムとジェリー」のトム、「シャーロットのおくりもの」のねずみは口やかましくて世話やきだった。

そのねずみと冒険とをくっつけたアニメーションといえば「親子ねずみの冒険」、「ビアンカの冒険」、そしてこの「冒険者たち—ガンバと7匹のなかま」。どうしてなのだろう。

冒険とは、危険を冒かすことであえて危険に挑んでいく能動的な行動だ。嵐を待つのではなく、こっちからそれに飛びこんでいくということだ。アニメーション映画は、キャラクターをさまざまな困難に出合わせて、それを乗りきっていくところにスリルとおもしろさを生み出していく。子どもは冒険が好きだ。主人公とともに冒険体験をする。冒険は、目的に向かう長い道程であり、新しい事物との出会いであり、新しい世界を発見させてくれる。それは正邪のぶつかりあいであり、正義ははじめは苦しいが、悪はたいてい滅びていく。

ねずみは、動物の中では小さくて力が弱い。知恵があり勇気がある。可愛らしい。本物を見るとキャッ!といっても、アニメのためにデフォルメされると可愛らしいという。そ





主題歌

（CBS・ソニー）　東京ムービー企画部作詞・山下毅雄作曲

ガンバのうた

歌　河原裕昌

一、ガンバガンバガンガンガンバ
波が踊るよ　ガンバ
水平線だよ　ガンバ
ガンバガンバ　ガンバと仲間たち
しっぽを立てろ！
ホホホ〜
信天翁がついてゆく
島がみえるよ　ガンバ
ガンバガンバ　ガンバと仲間たち

二、ガンバガンバガンガンガンバ
海で踊ろう　ガンバ
白い砂浜　ガンバ
ガンバガンバ　ガンバと仲間たち
しっぽを冷やせ！
ホホホ〜
信天翁の夜明けだよ
でかいあさ陽だ　ガンバ
ガンバガンバ　ガンバと仲間たち

三、ガンバガンバガンガンガンバ
ネズミ踊りだ　ガンバ
仲間が踊るよ　ガンバ
ガンバガンバ　ガンバの恋人は
しっぽに歌を！　ホホホ〜
信天翁の羽根のうえ
たき火をたいて　ガンバ
ガンバガンバ　ガンバと仲間たち

冒険者たちのバラード

歌　すぎうらよしひろ

一、逆巻く波とひらめく空が
ガンバと仲間をうちのめす
旅はもうこれまでだ
冒険をうちきろう
けれどガンバは指さした
小さな島を

（コーラス）
カモメはうたう
悪魔のうたを
帆柱に朝日は昇る
けれど夕日は
おまえと仲間の
ドクロを映す

二、とどろく雲は怒濤の海に
ガンバと仲間をころがした
これがほら始まりだ
何がある　何かある
仲間の胸は高鳴った
ひかりはそこに

（コーラス）
カモメはうたう
歓喜のうたを
舳先には朝日輝く
そして夕日は
おまえと仲間の
勝利を祝う

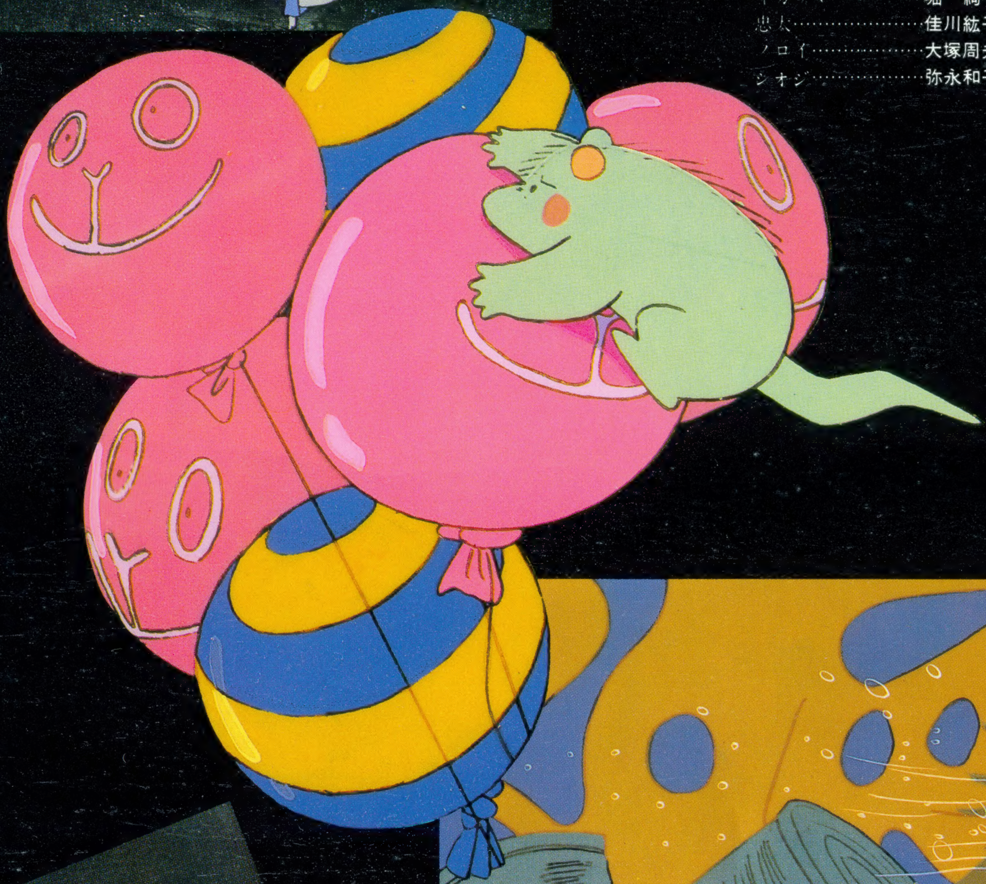
製　　作……藤岡　豊
フロデューサー……加藤俊三
原　　作……斎藤惇夫
脚　　本……大和屋竺
馬嶋　満
金子　裕
吉川惣司
高屋敷英夫
作画監督……椛島義夫
画面設定……芝山　努
美術監督……小林七郎
撮影監督……清水達正
音　　楽……山下毅雄
録　　音……加藤　敏
編　　集……鶴渕允寿

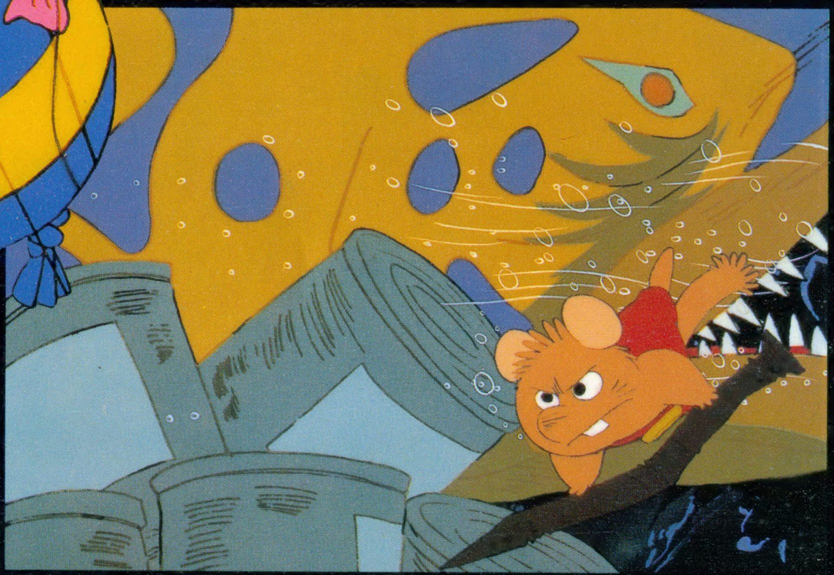
監　　督……出崎　統

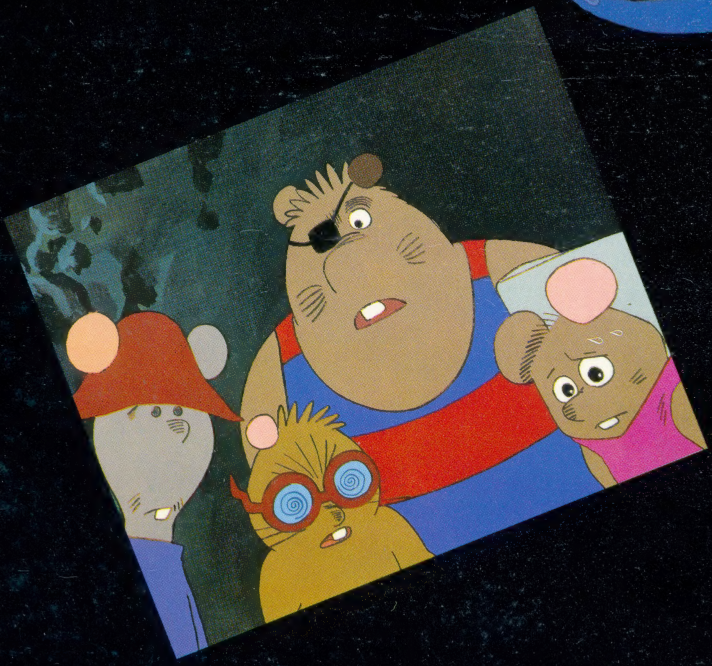
文　　芸……飯岡順一
助 監 督……竹内啓雄

声　ガンバ……野沢雅子
ボーボ……水城蘭子
ヨイショ……内海賢二
シジン……島田　彰
ガクシャ……富山　敬
イカサマ……堀　絢子
忠太……佳川紘子
ノロイ……大塚周夫
シオジ……弥永和子









製作　東京ムービー新社
配給　共同映画全国系列会議
東京都渋谷区桜丘町15-11 共同映画㈱内 ☎03(463)8245 (〒150)